

みんなこらんしょ！のぞみっこわらじまつり

～「わら」から学ぶ福島の伝統・文化・自然～

社会福祉法人愛和会

1. 社会福祉法人愛和会について

2010年9月設立。

2011年4月、笹谷に、認可保育園「**ささやのぞみ保育園**」を開設。

2015年、笹谷に、放課後児童クラブ「**のぞみ学童クラブささや**」を開設。

2016年、南沢又「**のぞみの森保育園**」「**のぞみ学童クラブしみず**」を開設。

2020年、北沢又に幼保連携型認定こども園「**のぞみの花こども園**」を開設。

「**子どもの幸せを第一に考える・生きる力と豊かな心を育む**」を理念とし、

保育園から小学校まで切れ目のない子育て・子育てを支援しています。



2. 特色ある幼児教育・保育プロジェクトの事業内容 目標と目的

当法人の夏まつりは、例年、園児によるお神輿や盆踊り・模擬店など、卒園児や近隣住民も訪れる賑わいのある行事でした。

しかし、この3年間は、新型コロナウイルスのパンデミックにより、行事の中止や縮小が余儀なくされました。

本年、新型コロナウイルスが5類に移行されたことを受け、コロナ禍には経験することが難しかった児童と地域との交流を再び深めるおまつりを実施したいと考え、子どもたちと職員が話し合いました。

意外にも、福島を代表する「わらじまつり」に参加したことがない園児、職員が多いことを知り、わらじまつりについて調べました。

これな～んだ？



う～ん？

2. 特色ある幼児教育・保育プロジェクトの事業内容 目標と目的

福島市の代表的な祭り「わらじまつり」を法人の行事として取り入れ、子どもも大人も「わらじまつり」を身近に感じ、体験することで、郷土意識を高め、併せて稲作の副産物である「わら」の活用について体験し、日本の食文化の基盤「米」の主要生産県である福島の稲作について興味・関心を高めてほしいと考えました。



おじいちゃん
の家のにおい
がする！



発酵食品
納豆もできるよ！

3. 特色ある幼児教育・保育プロジェクトの事業内容 年間予定

福島市の伝統行事である「わらじまつり」をテーマとして、当法人が独自にアレンジし「のぞみっこわらじまつり」として実施。わらじ作りから、稲刈り・納豆づくり・田植えなど、「わら」をとおして地域文化や食育・自然体験学習ができる内容です。

実施予定月	実施予定事業
6～7月	紙芝居制作、わらじ音頭の練習
8月	職員わらじ作り研修、親子わらじ作り講座
8月19日	みんなこらんしょ！のぞみっこわらじまつり
10月	稲刈り・わら作り体験
1月	わら納豆づくり体験
翌年2月	暁まいり
5月	田植え体験



3. 特色ある幼児教育・保育プロジェクトの事業内容 年間予定

実施予定事業	内容
紙芝居制作、わらじ音頭の練習	古関裕而さんが作曲したわらじ音頭などに取り組みます。
職員わらじ作り研修、親子わらじ作り講座	まつりに向けて、職員がわらじの作り方を学び、園児親子・児童がわらじ作りに取り組みます。
みんなこらんしょ！ のぞみっこわらじまつり	近隣住民の方も参加可能なまつりです。詳細については次のスライドをご覧ください。
稲刈り・わら作り体験	稲を刈り、そこからどのように「わら」が作られるのかを体験します。
わら納豆づくり体験	「福島市産大豆」と「わら」を使った伝統的な納豆づくりを体験します。 (納豆消費金額4年連続全国第1位 福島市)
暁まいり	各自で作ったわらじを、信夫山の羽黒神社に奉納します。
田植え体験	稲作の始まりである田植を体験します。

3. 特色ある幼児教育・保育プロジェクトの事業内容 みんなこらんしょ！のぞみっこわらじまつり

日時

令和5年8月19日（土）午後3時開始



場所

のぞみの花こども園 福島市北沢又字下台前2-12

対象

社会福祉法人愛和会の施設利用者及び家族、地域住民、地域の子ども

園児・児童とその家族が一堂に会し、福島市の伝統行事である「わらじまつり」を地域から盛り上げます。また、例年混雑のため、本会場に足を運ぶことができない乳幼児も親子で楽しめる内容を企画しています。

小学生によるわらじ担ぎ、園児のわらじ音頭等ステージ発表、縁日などもりだくさん！

4. 既に始めている取り組みについて

福島わらじまつり実行委員会が公開している「わらじまつり物語」を、子どもたちへの読み聞かせ用に紙芝居にして、「わらじまつり」がどのようにして始まったのかをわかりやすく伝えています。

また、「わら」はお米を作るときにできることや、カツオの炙り、牛や馬の飼料など、いつも身近なところで私たちの生活を支えてくれていることなど、「わら」について学んでいます。



わらじ物語は、福島わらじまつり公式ホームページで公開されています！

5. おわりに

ただいま紹介した一連の取り組みをとおして、子どもたちが豊かな感性を育むとともに郷土意識を高め、子育て世代の皆様方には、福島での子育てに魅力を感じていただければと願っています。

毎年、園児が福島市産大豆で作っているみそを使ったみそ汁と、わら納豆、子どもたちが自ら稲刈りをしたお米を給食で提供すること、わらじまつり本会場へ参加することを完成形として取り組んでいきたいと考えています。



親子でわらじ作り
に挑戦中！

